



発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市粕壁東
6丁目7-12
電話748-5159
FAX 748-5179

22年度一般会計当初予算808億円

県内全域で窓口払い廃止に

22年度の一般会計当初予算は、総額808億円。前年度より約42億円(5・6%増)で過去最大となりました。

基金(貯金)総額は、21年度末見込み125・8億円、(うち財政調整基金は52億円)です。20年度決算より15億円増えました。市民生活改善の財源は十分あります。

実質的な市債(借金)は、21年度末見込み184億円で、20年度決算より15億円増えました。(主な内容は下表参照)

長寿祝金は「誕生月の翌月に贈呈」に改善

党市議団が提案してきた

「長寿祝金の誕生日に支給」は、22年度から「誕生月の翌月に簡易書留で贈呈」するところになりました。満88歳は2万円、満100歳は5万円、105歳は8万円で、22年度の対象者は1075人です。入院18歳・通院15歳まで無料のこども医療費は、10月から「県内全域で窓口払い廃止」になります。

4月から「産婦健診検査費用助成」が始まります。1回分で上限は5000円です。3歳5カ月児の健診時に「精度の高い屈折検査」を4月から導入します。

2022年度一般会計当初予算の主な内容

○コロナ感染症対策

- ・ワクチン接種(4~7月) 5億5458万円
- ・発熱外来(小児救急夜間診療所) 9058万円
- ・介護施設PCR検査費用補助 150万円

○子育て・教育

- ・こども医療費入院18歳、通院15歳 6億8267万円
- ・母子保健事業 1億8959万円
(産婦健診検査費用助成、3歳5か月時屈折検査)
- ・小中学校情報教育推進 5億570万円
(情報機器の運用・保守、学習ソフトの導入)
- ・スクール・サポート・スタッフ配置事業
(印刷・授業準備、採点など補助) 2471万円

○健康・福祉・医療

- ・長寿記念事業(誕生月翌月に贈呈) 4346万円
- ・予防接種(17種類、子宮頸がん等) 7億6735万円

○市民参加・文化・スポーツ

- ・体育施設運営事業 3億2307万円
(芝のサッカー場実現に向けた調査等)
- ・市民文化会館運営事業 2億48万円
(エレベーター改修等)

○環境・防災・生活

- ・防犯・暴力対策事業 2685万円
(振り込め詐欺等対策機器購入一部補助等)
- ・クリーンセンター運営事業 2億8753万円
- ・消防施設耐震対策事業 2億112万円
(武里分署新築工事、豊野分署耐震補強等)

○観光・産業・経済

- ・商工振興センター跡地活用調査 2116万円
- ・大風啓発推進事業 3600万円
- ・水田収益力強化事業(米粉・実証実験) 243万円

○都市基盤

- ・橋りょう長寿命化修繕事業 2億548万円
(藤塚橋、元新宿橋)
- ・子育てふれあい公園リニューアル事業
(武里第6公園) 2200万円
- ・コミュニティバス運行事業 9305万円
(タクシー活用、路線バス乗り継ぎ等)
- ・新婚生活支援事業 600万円
(住居費、引っ越し費用一部補助)

○行財政

- ・新本庁舎整備事業 32億8858万円



施政方針に対する松本議員の代表質問

小中学校職員に定期的な検査を

21日、松本ひろかず議員(党議員団長)が、「市長の令和4年度施政方針」に対する代表質問を行いました。概要は次の通りです。(コロナ関係のみ掲載)

1、ワクチンの接種状況と接種率が低い理由は、

2月16日現在の接種率は、1回目88・8%、2回目は87・9%、3回目は10・3%。65歳以上では、1回目96・4%、2回目は95・9%、3回目は20・6%。

3回目の接種率が低い理由は、1・2回目の接種において報道等で副反応が大きく取り上げられたモデルナを敬遠しているのではないか、と考えられる。

2、PCR検査について、福祉施設、児童施設、市職員・消防職員は定期的に検査する必要がある。検査の実施状況は。

介護施設職員は、多くの事業所で、日本財団が実施している無料のPCR検査事業を活用し、毎週検査を行っている。

障害児・者通所支援事業所の職員は、検査を希望する施設に対し、埼玉県が無償でPCR検査キットを2週間に1回送付している。

保育園、幼稚園の職員については、抗原簡易キットを配布して適宜検査を実施している。

小中学校の職員においても、抗原簡易キットを活用し、検査を行っている学校がある。(再質問で定期的な検査実施を要望)

3、自宅療養に対するパルスオキシメーターの貸与、配食サービスが遅いのは、どうしてか。自宅療養者・濃厚接触者に対する生活支援・相談体制は。

自宅療養者支援に必要な情報は、保健所や県の調整後に提供され、市では情報を得た日に発送・配送手配を行っている。

市職員も補助的にパルスオキシメーターの発送作業を行うなど、遅滞なくお届けするよう努めている。

市の配食サービスは、幅広い対象者に対応した食品セットの他、急な不足にも対応出来るようトイレットペーパー・ごみ袋等の日用品も配送している。

自宅療養者の対応は保健所が担うことになっているが、市に相談があった場合には丁寧に対応し、可能な範囲での助言や、必要に応じ、適切に宿泊・自宅療養

者支援センターや保健所へつないでいく。(再質問で市に専用電話開設を要望)

4、医療センターにおける入院状況は。救急受け入れや手術などは予定通りか。

新型コロナウイルスの新規入院患者は、確保病床29床に対し、最大で26人の患者がたが、ここ1週間の状況では22人前後で推移している。

救急の受け入れ、市外からの搬送で医療センターがかりつけ医でない場合には、お断りをせざるをえない状況。入院や手術については、制限することなく予定通り行っている。

5、消防の救急体制は。

濃厚接触者等を疑い例として、病院選定している。

搬送困難として、照会回数も多かった回は、36回。現場滞在時間が最も長かった時間は、4時間31分。最も遠い搬送先は、入間郡三芳町の医療機関でした。

市立医療センター ☎735-1261(夜間毎日土・日・祝)内・外科系 救急電話相談#7119

2/27(日) (内科系) 埼玉東部診療所: 大畑321 宮前ビル1階 電話: 720-8715 (小児科系) ますだ春日部クリニック: 中央4-8-12 AYAKAビル1階 電話: 606-3101 (外科系) 杉浦眼科・豊春分院: 上蛭田259-2 電話: 754-2333
3/ 6(日) つちだクリニック (内科系) 一ノ割1726 ☎733-2900 岡田医院 (小児科系) 一ノ割2-6-21 ☎735-7848 武里外科脳神経外科 (外科系) 大畑241-2 ☎736-7516